

まちづくり 町民アンケート

結果



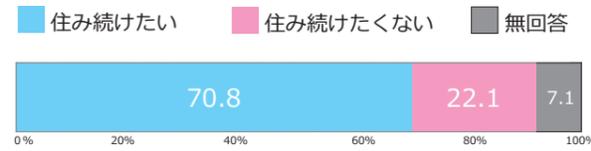
第2次板倉町中期事業推進計画の策定にあたって、町民の皆様のご意見やご提案をいただくために、「まちづくり町民アンケート」を実施しました。アンケートの回収率は89.3%にのぼり、大変多くのかたにご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。広報紙では調査結果の一部を抜粋・加工し、お知らせします。なお、調査結果の詳細は、町ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

調査地域	調査対象者	抽出方法	回収数	回収率	実施期間
町内全域 (全行政区)	4,310人	行政区に加入する 全世帯	3,849人	89.3%	令和元年 7～8月

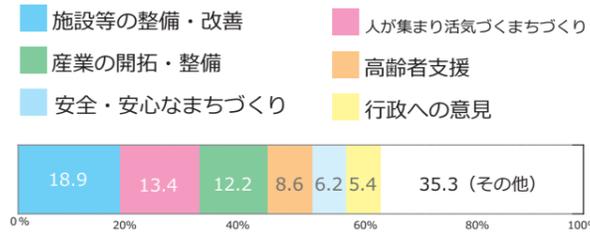
板倉町を暮らしやすいまちと感じていますか (グラフ2)



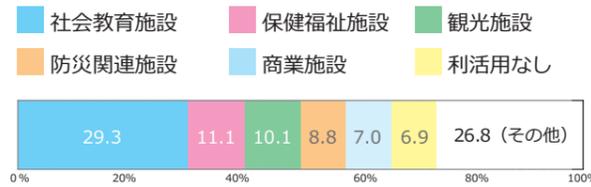
今後も板倉町に住み続けたいですか (グラフ1)



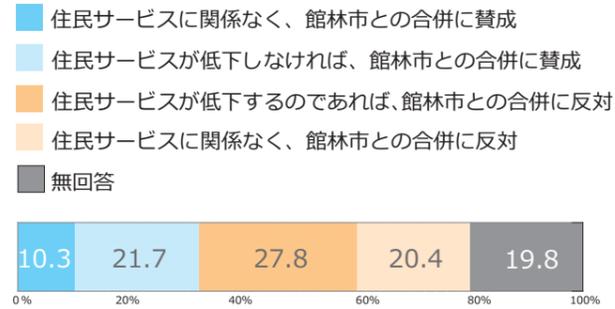
町が目指すまちづくりについて (グラフ4)



廃校になる小学校の利活用案 (グラフ3)



館林市との合併についての考え (グラフ5)



まちづくり町民アンケート結果の詳細を示した『まちづくり町民アンケート報告書』は、町ホームページで公開されています。

<http://www.town.itakura.gunma.jp>
また、役場2階の企画調整係窓口で閲覧することもできます。

問合せ 企画調整係 ☎ 82-6125

町が行っている取組 (表1)

町が行っている施策	重要度が高い	重要度が低い	満足度が高い	満足度が低い
災害への備え	76.2%	3.2%	39.9%	13.9%
防犯体制の強化	77.7%	1.4%	24.1%	24.8%
公共交通の充実	74.9%	2.2%	20.0%	37.2%
環境衛生の確保	81.2%	0.8%	43.8%	15.5%
子育て支援の充実	74.8%	2.6%	41.4%	9.2%
健康の増進	77.4%	1.4%	47.2%	6.0%
介護(予防)サービスの充実	78.9%	1.1%	30.3%	11.5%
地域福祉の推進	73.7%	2.0%	26.7%	9.4%
農業の振興	58.4%	4.9%	15.5%	13.9%
商工業の振興	60.6%	3.7%	15.1%	19.4%
観光の振興	48.5%	10.0%	11.5%	23.8%
児童生徒の育成	67.4%	2.4%	21.6%	11.3%
芸術と文化の振興	45.5%	8.5%	14.5%	10.7%
スポーツの振興	48.2%	10.6%	19.2%	14.0%
生涯学習の推進	54.1%	5.6%	19.3%	12.8%
都市計画の推進	58.0%	4.9%	13.2%	23.8%
道路網の整備	73.2%	2.3%	24.6%	25.6%
住宅対策の推進	56.3%	6.1%	14.1%	21.0%
町民参加によるまちづくりの推進	48.7%	6.7%	15.6%	12.4%
情報の発信	54.6%	6.0%	23.0%	12.1%
財政運営の効率化	63.8%	2.8%	14.6%	19.3%

◆回答者の属性

- 性別 「男性」が54.9%、「女性」が41.9%、無回答3.2%でした。
- 年齢 「60歳代」が32.0%と最も高い比率でした。次いで「70歳代以上」(28.6%)、「50歳代」(19.0%)の順となり、50歳代以上が約8割を占めました。
- 家族構成 「夫婦世帯」が33.2%と最も高い比率でした。次いで「2世代家族」(32.8%)、「単身世帯」(15.9%)の順となっています。
- 主な職業 「会社員・公務員」が24.9%と最も高い比率でした。次いで「無職」(22.6%)、「パート・アルバイト」(16.7%)の順となっています。

く、次いで「自然環境に恵まれている」(52.6%)と、どちらも半数を超えました。また、「治安がよい」(39.3%)と「地域での人間関係がよい」(33.2%)が、それぞれ3割を超えています。

一方、「住み続けたくない」と回答した人の理由は、「買い物や生活に不便」が76.7%と最も高く、次いで「交通の不便」(67.2%)と、どちらも7割前後となっています。また、「保健・福祉・医療が充実していない」が35.7%と、3割を超えました。

◆館林市との合併についての考え(グラフ5)

平成31年1月に館林市・板倉町合併協議会が休止になりました。これに対する意見を伺ったものです。

「住民サービスが低下するのであれば、館林市との合併に反対」が27.8%と最も高く、次いで「住民サービスが低下しなければ、館林市との合併に賛成」(21.7%)、「住民サービスに関係なく、館林市との合併に反対」(20.4%)となっています。

なお、条件にかかわらず賛成・反対に分けてみると、「合併に賛成」が32.0%、「合併に反対」が48.2%でした。年齢区分別では、50歳未満で「合併に反対」が54.4%と、50歳以上の47.1%に比べ高くなっています。

◆町が行っている取組(表1)

町が行っている取組の重要度について、「重要度が高い」「重要度が高い」「重要度が高い」「重要度が高い」と「重要度が高い」「重要度が高い」に分けてみると、全ての項目において「重要度が高い」方の割合が高くなっています。

『重要度が高い』とされているものは、「環境衛生の確保」が最も高く、次いで「介護(予防)サービスの充実」、「防犯体制の強化」、「道路網の整備」、「防犯体制の強化」となっています。

満足度について、『満足度が高い』と判断されているものは、「健康の増進」が最も高く、次いで「環境衛生の確保」と「子育て支援の充実」で4割を超えており、また、『満足度が低い』と判断されているものは、「公共交通の充実」、「道路網の整備」、「防犯体制の強化」となっています。